



日頃の評価対策

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

さて最近ですが、患者さんで転んで頭をぶつけて出血したり、背中をぶつけて動けなくなったりと、ご家族が救急車を要請されたり、当院に緊急

対応を求められたりするし、寝たきりになってしまった方も多数いらっしゃいます。

実際在宅診療で診ている患者さんの多くは、年齢や高血圧、糖尿病、心不全など脳梗塞が発症する危険が高いので、血液をサラサラにする薬剤（抗凝固療法など）を飲んでおり、出血がひどくなる可能性があります。また、骨量も少なく骨粗鬆症の方も多く、転倒に伴う痛み管理や骨粗鬆症に対する骨頸部骨折などが発症

しては骨粗鬆症の治療を行います。ただし、何よりも大切なことは日頃とれくらくらいつつあったリスクがあるのかの評価対策をしておくことです。ご自宅で転倒のリスクが高いのであ



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

た、在宅でレントゲン評価を行い、骨折を確認し、痛み管理や骨粗鬆症に対する治療を行います。

[まつばらホームクリニック]
☎ **042-439-1250**
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応:午前9:00～午後6:00
■定休日 :土日(祝日は診療)
■訪問地域:西東京市、東久留米・新座・練馬の一部
まつばらホームクリニック 検索

